

にこにこ担当の先生の話

令和6年11月20日

篠原小のみなさん、にこにこ音楽集会まで、あと一週間となりました。本番に向けて、練習は進んでいますか。今日は、音楽集会の「にこにこ」のお話をします。自分のよさ、友達のよさを見つけ、当日は「やりきった、満足!」といえる歌や演奏になるといいですね。例えば、自分のよさは、「私は鍵盤が得意じゃないけれど、音やリズムがずれないように、みんなの音をよく聴いて頑張るよ。」など、自分なりに一生懸命やろうとする自分のよさです。友達のよさは、例えば、「自分はできないけれど、友達はピアノを弾いていてすごいな。」とか、「友達にも分かりやすく教えてあげていて、やさしいな。」また、「せりふが堂々と言えていてカッコいいな。」など、たくさん見つけられることと思います。

ここで、音楽についてのお話をします。先生が小学生のころ、鍵盤ハーモニカやリコーダーは好きで得意な方でしたが、歌はあまり自信がありませんでした。みんなの前で歌うのは、はずかしかったです。でも、みんなと一緒にたくさん歌っているうちに、歌が好きになり、気づいたら、一人で歌うことが苦手ではなくなり、少し得意になりました。

苦手なこと、好きでないことも、一生懸命頑張っているうちに、できるようになることはたくさんあります。みなさんも、精一杯練習して、少しでも自分に自信がもてるよう、努力してみましよう。

また、学級や学年の友達と歌ったり演奏したりするときには、自分一人の演奏と違って、音・リズム・速さを合わせなければなりません。では、どうしたら、ぴったり音・リズム・速さが合うようになるのでしょうか。それは、友達の音をよく聴く、指揮者をよく見る、の二つができると、みんなの「こんなふうに演奏したい。」という気持ち、心も一つになります。心が一つになった歌や演奏は、聴いている人の心を動かし、感動させます。ペア学年やおうちの人の心を動かす歌や演奏になったら、とても素敵ですね。

自分一人では出せない、学級や学年のみんなとなら出すことができる素敵なメロディーを、体育館いっぱいに響かせて、音楽を思いきり楽しみましよう。そして、自分のよさ、友達のよさを改めて感じられる集会になるといいですね。

